



# 義務教育学校について

平成30年6月29日 鳥取市教育委員会の方針決定

平成32年3月31日をもって江山中学校、神戸小学校および美和小学校を廃止し、3校を統合した新たな**義務教育学校**を平成32年4月1日に開設する。

平成29年9月19日 「江山校区の学校のあり方を考える会」からの要望書

神戸小学校・美和小学校・江山中学校での**小中一貫校**設立の検討をお願いします。

# 日本にはどんな学校があるのかな？

小学校 中学校 高等学校 大学

幼稚園 特別支援学校 高等専門学校

中等教育学校 義務教育学校

平成27年6月24日 学校教育法の一部改正

# 小中一貫教育とは…

## 【小中一貫教育】

小・中学校がめざす子ども像を共有し、  
9年間を通じた教育課程を編成し、  
系統的な教育をめざす教育

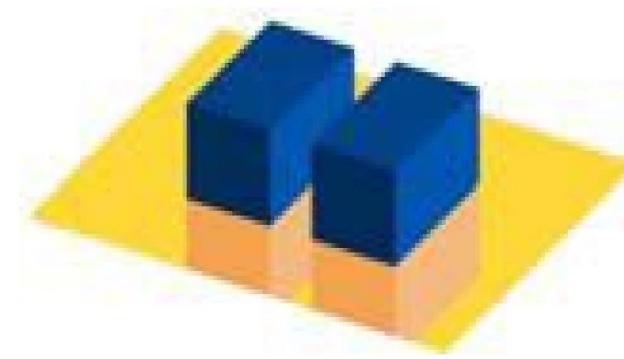
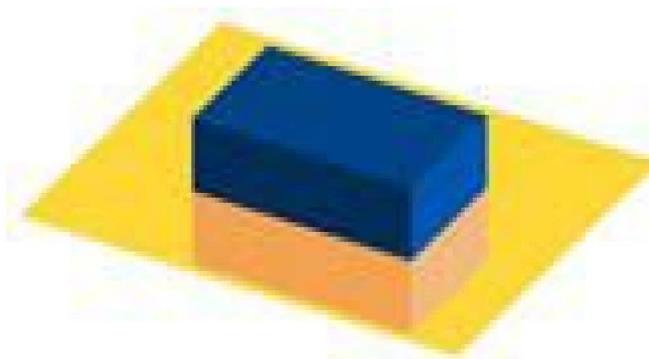
## 【小中連携教育】

小・中学校が、  
互いに情報交換や交流を行うことを通じて、  
小学校教育から中学校教育への円滑な接続をめざす  
さまざまな教育

# 小中一貫教育校の制度化 H28. 4～

	義務教育学校	小中一貫型小学校・中学校
修業年限	9年 (前期課程6年+後期課程3年)	小学校6年、中学校3年
組織・運営	一人の校長 一つの教職員組織	それぞれの学校に校長 それぞれの学校に教職員組織
教育課程	・9年間の教育目標の設定 ・9年間の系統性・体系性に配慮がなされた教育課程の編成	
教育課程の特例	独自教科の設定	○
	指導内容の入替え・移行	○
施設形態	施設一体型・施設隣接型・施設分離型	
設置手続き	市町村の条例	市町村教育委員会の規則等

# 鳥取市の義務教育学校



**施設一体型**

湖南学園

(4-3-2制)

福部未来学園

(3-3-4制)

**施設分離型**

鹿野学園

【流沙川学舎】

【王舎城学舎】

(5-4制)

# 義務教育学校のメリット

★独自教科の設定、指導内容の入れ替えなど柔軟な教育課程を編成できる。

- ・独自教科 「みらい科」（福部未来学園）  
「表鷺科」（鹿野学園）
- ・指導内容の入れ替え  
(例) 中学1年生：数学「正・負の数」  小学6年生へ

# 義務教育学校のメリット

★学年の区切りを柔軟にできる。

- 4-3-2制 (湖南学園)
- 5-4制 (鹿野学園)

★小中の教職員が、一人の子どもの9年間の成長を確認しながら教育できる。

- ・小学校学習内容でのつまずきを把握して、中学校の学習指導に活かす
- ・小学校高学年において、教科担任制を導入できる

学力の向上

# 小中一貫教育の取組の実際

鹿野学園

りゅうしやがわ

流沙川学舎(元鹿野小校舎)

1年  
2年

3年  
4年  
5年

初等ブロック

中等ブロック

基盤となる学びづくり

応用・活用できる学びづくり

入学式

雛鶯の立初め式

若鶯の立志式

学級担任制

一部教科担任制

教科担任制

新設教科「表鶯科」(あらわしか)

なかよし班活動／縦割り班活動

宿泊学習

修学旅行

宿泊学習

宿泊学習

職場体験  
学習

修学旅行

小体連

中体連

おうしゃじょう

王舎城学舎(元鹿野中校舎)

6年  
7年  
8年  
9年

高等ブロック

総合・探究できる学びづくり

表鶯の巣立ち式

卒業式

# 小中一貫教育の取組の実際

福部未来学園

◆平成30年度 授業形態

ブロック	初等ブロック			中等ブロック			高等ブロック			
学年	さくら	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
国語										
社会										
生活	年間を通した合同学習									
算数・数学		TT	TT	TT・少人数						
理科										
外国語										
音楽					TT		TT			
図画工作・美術										
技術										
家庭科										
体育・保健体育								TT	TT	TT
道徳										
特別活動	年間を通した縦割り活動(集会・行事・清掃活動 等)									
総合							TT	TT	TT	TT
みらい科										

前・後期課程間の出入



前期課程教科担任制



ALT



# 義務教育学校のメリット

★上級生(中学生)が下級生(低学年)の良いモデルとなる

- ・上級生は下級生の良い手本になろうとする意識が高まる
- ・上級生はより思いやりの気持ちが育つ
- ・下級生は上級生へのあこがれの気持ちが強まる

★小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まり、指導力の向上につながった。

# 小中一貫教育の課題

- 小中の教職員間での打ち合わせ時間の確保
- 教職員の負担感・多忙感の解消
- 小学校高学年のリーダー性、主体性の育成
- 児童生徒の人間関係が固定化しないような配慮

## 義務教育学校になつても残る課題

- 同学年の児童生徒数は変わらない
- 部活動の選択肢が増えない
- 節目がつきにくい